

少子高齢化、国際化、情報化、知識基盤社会の到来など、社会の情勢が大きく変化しています。こうした中、もともとと学校・家庭・地域が連携・協力し、新しい社会に対応した教育を展開するために「土岐市教育夢・絆プラン」を策定しました。

これは、今後10年間を通じて目指すべき教育の姿を「夢を持ち人との絆の中で育ち合う土岐市教育」とし、「えがく力」（未来に思いをはせ、将来に夢を持ち、自分らしい生き方を求めて前向きに生きる力）

「ひらく力」（生涯にわたって自ら学び続け、社会の変化に主体的に対応していく力）

「つながる力」（豊かな人間関係を築き、人と協力して地域や社会を動かしていく力）

の3つの力を大切にした教育を目指そうとするものです。

また、今後5年間に取り組むべき目標として、次の8つを掲げています。

- ① 豊かな心と確かな学力を身に付けた健やかな子どもを育てます
- ② 学びに打ち込める教育環境を整えます
- ③ 教員の資質・指導力を高めます
- ④ 家庭の教育力を高めます

⑤ 地域の教育力を高めます

⑥ 地域づくり型生涯学習を推進します

⑦ 文化芸術活動を振興します

⑧ スポーツを振興します

この目標の下に、129の施策を示しました。こうした考えや施策がより実効性のあるものとするために、プランからアクションへと市民ぐみで取り組む具体的な行動指針をそれぞれ7つずつ示した、「家庭教育アクション7」「地域教育アクション7」「授業クオリティー7」も盛り込まれています。

これら「土岐市教育夢・絆プラン」に示された理念や目標を確認し合ったり、進捗状況を見届け合ったりすることを目的とした市民集会「夢と絆のつどい」を年に一度開催することを予定しています。この集会は、市内6つの中学校を輪番制で持ち回り、会場の授業公開、児童生徒やPTA、各種団体の活動発表、意見交流などを行います。



- 住宅火災から大切な生命を守るために、
- 住宅用火災警報器を設置してください

消防本部・☎530123

災害対応特殊水槽付き 消防ポンプ自動車を配備

市消防本部は、災害対応特殊水槽付き消防ポンプ自動車を配備しました。

この車両の特徴は『圧縮空気泡消火装置』を装備していることです。圧縮空気泡消火装置とは、「圧縮した空気」とせっけんが主成分の「消火原液」を混ぜて放射させる装置のことです。この装置を使用することで、1,500リットルの水を積載可能なこの車両の場合、通常の放水と比較して約7倍近い消火能力を得ることができます。そのため、地震や火災などによる大規模災害や特殊な災害、被災地に応援部隊として駆け付ける緊急消防援助隊登録部隊の消火隊として活動する時に、消火栓や防火水槽のない場所でも有効な活動を行うことが可能です。

また、この装置は、一般建物火災、耐火建物火災、車両火災、油火災などすべての火災に有効な能力を発揮します。ボタン1つで「水・泡」の切り替えができ、状況に応じた放水と消火活動を素早く行うことができます。さらに、消火原液はせっけんが主成分であるため、消火後の環境への影響も最小限に抑えることができます。

市消防本部は万一に備え、災害対応の能力強化を図り、市民の皆さんが安心して暮らすことができるよう取り組んでいます。



▲災害対応特殊水槽付き消防ポンプ自動車